

5. 7. 21
1458

又ルニ至ラハルヲ以テ調停者タル橋本ヨリ微盟代表ニ対シ
今一応考慮シ最後案ノ作成方懇通セルニヨリ之レヲ諒トシ
両者共得ル処ナリ決別セリ

四警署取締

從業員同盟發務整理委員ニ對テハ未解決案件タル各報保証金
問題ニ付対策快議ノ為メ第二本部ニ召集セルニ特託スヘキ行
動ナリ社員微盟本部員ノ動靜カ稍又スレバ矯激ニ且ル言動
ルニヨリ引続キ相移注意中ナリ
右及申(通)報候也

勞務第二二六九號

昭和五年七月十七日

警視總監 丸山 鶴吉

内務大臣 安達謙藏 殿

社會 局長 官 殿

各廳 府縣 長官 殿

此書は多分右様申付
身存本分有るもの也

呈製染株式會社解雇社員ノ紛争其他ニ関スル件

(別第十一報)

要旨

- (1) 會社於テ社長對重役ノ内証解テス為ニ全業モ意如クナラカハ在社各員及職工ハ漸次悪化ノ傾
向アリ
- (2) 社員聯盟代表調停會橋本警視總監ノ調停ニ依頼セルモ何等進展トス七月十五日交渉結果本月二十日
内松五千圓ノ覺書ヲ社長ヨリ提出セシメ引揚タリ
- (3) 在社各員及職工ハ強硬態度ニテ交渉中ナルカ十五日ノ交渉ニテ(1)七月十六日金三千円 (2)六月分
給料八月十八日及二十日ニ支拂ノ旨覺書ヲ社長ヨリ受取リ一時小康ヲ得タリ